

大脇新田戸田家文書目録・解題

愛知県立大学中世史研究会

大脇新田戸田家文書は、三河国渥美郡大脇新田（豊橋市大脇町）の庄屋を務めた戸田源藏家に伝来した文書群である。後述するように、大脇新田は近世前期に隣接する雲谷村（同市雲谷町）より分村成立した新田村落であり、近代には二川村（同市二川町）と合併した。大脇新田戸田家文書は、近世新田村落の展開を跡付けられるうえに、大脇町白山神社所蔵棟札、二川区有文書、普門寺文書等の他の文書群との歴史的連関性が強く、地域史の厚みのある解明に不可欠である。当研究会では、二〇一〇年度より中近世の山林寺院と村落との歴史的な関係を追究するべく、普門寺文書の調査、および普門寺山麓村落である雲谷・岩崎（同市岩崎町）等の調査を行ってきた。その折にお世話になった大脇町在住の戸田和治郎氏より当該文書の存在をご教示いただき、二〇一四年度に愛知県立大学の二〇一四年度学生自主企画研究「三河地域史料の研究―文化財の発見、歴史文化の再発見」（研究代表・松井菜緒）の一環として調査・整理を行った。その成果として、ここに全文の目録を掲載し、簡略な解題を付す。

調査にあたっては、地元大脇町の加藤彰夫氏（現自治会長）、佐原廣知氏、鈴木豊二氏、戸田収一氏、戸田和治郎氏には格別のご協力を賜った。豊橋市美術博物館の増山真一郎氏、鶴田知大氏には調査に関する種々のご助言を賜った。豊橋市二川宿本陣資料館の久住祐一郎氏には、二川区有文書等の閲覧でお世話になった。ここに記して感謝申し上げる。

調査参加者は以下の通りである。

佐藤未奈子、西川龍悟、羽根田柗稀、平賀彩絵、松井菜緒、森彩乃（以上、愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科3年生）、大澤慎也、加賀紀実、橋本侑季、濱口早耶乃、見田篤紀（以上、同4年生）、服部光真（愛知県立大学大学院国際文化研究科博士後期課程）、田中博久（調査協力者）

なお、本稿は研究会での討議を踏まえて、服部が執筆した。

大脇新田戸田家文書目録

調書番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
2	宝暦13年 (1763)	未年貢可納割付之事	倉隼太(御)他7名	庄屋・百姓	状	1	調書番号30まで封筒「年貢割付」入調書番号1-13まで紐で一括
2	宝暦12年 (1762)	午年貢可納割付之事	倉隼太(御)他7名	庄屋・百姓	状	1	端裏書「大脇新田」
1	宝暦11年 (1761)	巳年貢可納割付之事	宇兵蔵(御)他7名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦10年 (1760)	辰年貢可納割付之事	宇兵蔵他8名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦9年 (1759)	卯年貢可納割付之事	菅平五郎(御)他6名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦8年 (1758)	寅年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他7名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦7年 (1757)	丑年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他6名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦6年 (1756)	子年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他6名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦5年 (1755)	亥年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他8名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦4年 (1754)	戌年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他9名	庄屋・百姓	状	1	
1	宝暦3年 (1753)	酉年貢可納割付之事	山左兵衛(御)他10名	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」
1	宝暦2年 (1752)	申年貢可納割付之事	鋤孫左衛門(御)他9名	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」
1	宝暦元年 (1751)	未年貢可納割付之事	鋤孫左衛門(御)他8名	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」
2	安永9年 (1780)	子年貢可納割付之事	波代次郎(御)他6名	庄屋・百姓	状	1	調書番号2-7まで紐で一括
2	安永8年 (1779)	亥年貢可納割付之事	波代次郎(御)他6名	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」

4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	
3	2	1	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3
天保5年(1834) 10月 日	天保4年(1833) 10月 日	天保3年(1832) 10月 日	文化14年(1817) 11月23日	文化13年(1816) 11月28日	文化12年(1815) 11月27日	文化11年(1814) 11月28日	文化10年(1813)	文化9年(1812) 11月28日	文化8年(1811) 11月 日	文化7年(1810) 11月29日	文化6年(1809) 11月28日	文化5年(1808) 11月 日	文化4年(1807) 11月28日	文化3年(1806) 11月 日	文化2年(1805) 11月29日	文化元年(1804) 11月28日	安永3年(1774) 11月23日	安永4年(1775) 11月28日	安永5年(1776) 11月22日	安永6年(1777) 11月28日	安永7年(1778) 11月20日
午御年貢可納割付之事	巳御年貢可納割付之事	辰御年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	午年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	辰年貢可納割付之事	卯年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	午年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事
平岡熊太郎(御)	平岡彦兵衛(御)	平岡彦兵衛(御)	柳空之丞(御)他7名	酒角右衛門(御)他7名	酒角右衛門(御)他6名	寺大之進(御)他5名	寺大之進(御)他6名	沖九郎左衛門(御)他6名	沖九郎左衛門(御)他6名	沖九郎左衛門(御)他6名	宇兵藏(御)他6名	宇兵藏(御)他7名	宇兵藏(御)他8名	宇兵藏(御)他6名	宇兵藏(御)他7名	倉源左衛門(御)他8名	沖九郎左衛門(御)他6名	波代次郎(御)他7名	波代次郎(御)他7名	波代次郎(御)他7名	波代次郎(御)他7名
頭・惣百姓	右村名主・組頭・惣百姓	右之村名主・組頭・惣百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
端裏書「三州雲谷村大脇新田」	末尾に「大脇」端裏書「渥美郡雲谷村大脇新田」	調書番号4―13まで紐で一括	端裏・貼紙「大脇新田」文化十四」	端裏・貼紙「大脇新田」文化十二」	端裏・貼紙「大脇新田」文化十一」	端裏・貼紙「大脇新田」文化九」	端裏・貼紙「大脇新田」文化八」	端裏・貼紙「大脇新田」文化七」	端裏・貼紙「大脇新田」文化六」	端裏・貼紙「大脇新田」文化五」	端裏・貼紙「大脇新田」文化四」	端裏・貼紙「大脇新田」文化三」	端裏・貼紙「大脇新田」文化二」	端裏・貼紙「大脇新田」文化一」	紙「大脇新田」	調書番号3―14まで紐で一括 端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」

6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	調書番号	
4	3	2	1	7	6	5	4	3	2	1	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
文政4年(1821)	文政3年(1820)	文政2年(1819)	文政元年(1818)	嘉永7年(1854)	嘉永6年(1853)	嘉永5年(1852)	嘉永4年(1851)	嘉永3年(1850)	嘉永2年(1849)	嘉永元年(1848)	天保15年(1844)	天保14年(1843)	天保13年(1842)	天保12年(1841)	天保11年(1840)	天保10年(1839)	天保9年(1838)	天保8年(1837)	天保7年(1836)	天保6年(1835)
11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	11月日	10月日	10月日	10月日
巳年貢可納割付之事	辰年貢可納割付之事	卯年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	辰年貢可納割付之事	卯年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉御年貢可納割付之事	申御年貢可納割付之事	未御年貢可納割付之事
田市兵衛(御)他7名	田市兵衛他7名	柳李之丞(御)他7名	柳李之丞(御)他7名	宇兵藏(御)他8名	宇兵藏(御)他9名	宇兵藏(御)他8名	宇兵藏(御)他8名	宇兵藏(御)他8名	宇兵藏(御)他7名	宇兵藏(御)他9名	小助左衛門(御)他7名	小助左衛門(御)他7名	小助左衛門(御)他7名	松茂助(御)他7名	松茂助(御)他7名	松茂助(御)他7名	松茂助(御)他7名	平岡熊太郎(御)	平岡熊太郎(御)	平岡熊太郎(御)
庄屋・百姓	庄屋・百姓	—	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	組頭・惣百姓	右之村名主・組頭・惣百姓	右之村名主・組頭・惣百姓
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			調書番号6―13まで紐で一括 端裏・貼紙〔大脇新田・文政元〕		端裏・貼紙〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕	紙〔大脇新田〕	調書番号5―7まで紐で一括 端裏・貼紙〔大脇新田〕			端裏・貼紙剝離〔大脇新田〕、端裏書〔大脇新田〕	端裏・貼紙〔大脇新田〕		端裏書〔渥美郡雲谷村大脇新田〕	端裏書〔平岡熊太郎 大脇新田〕	端裏書〔三州渥美郡雲谷村之内大脇新田〕

8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		6	5	4	3	2	1	13	12	11	10	9	8	7	6	5		
享保12年 (1727)	享保10年 (1725)	享保9年 (1724)	享保8年 (1723)	享保7年 (1722)	享保6年 (1721)	享保4年 (1719)	享保3年 (1718)	享保2年 (1717)	享保元年 (1716)	宝永7年 (1710)	宝永6年 (1709)	宝永5年 (1708)	宝永3年 (1706)	宝永2年 (1705)	宝永元年 (1704)	文政13年 (1830)	文政12年 (1829)	文政11年 (1828)	文政10年 (1827)	文政9年 (1826)	文政8年 (1825)	文政7年 (1824)	文政6年 (1823)	文政5年 (1822)			
11月15日	11月18日	11月25日	11月15日	11月11日	11月11日	10月25日	11月2日	10月27日	10月25日	10月15日	10月15日	10月15日	10月15日	10月 日	12月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日		
未年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	辰年貢可納割付之事	卯年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	寅割付之事	巳割付之事	子割付之事	戌之割付之事	酉年田畠御物成可納割付之事	申年田畑御物成可納別付之事	寅年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	午年貢可納割付之事			
杵新助他10名	長善助(御)他7名	長善助(御)他6名	長善助(御)他6名	長善助(御)他6名	長善助(御)他6名	加小平太他4名	中安左衛門(御)他4名	石権左衛門(御)他4名	大彦八郎(御)他3名	栗六右衛門(御)他6名	栗六右衛門(御)他6名	栗六右衛門(御)他5名	阿瀬兵衛(御)他3名	亀清左衛門(御)他2名	亀清左衛門(御)他3名	柴猪助(御)他7名	柴猪助(御)他7名	柴猪助(御)他7名	柴猪助(御)他7名	柴猪助(御)他7名	松茂助(御)他7名	松茂助(御)他7名	加清右衛門(御)他6名	田市兵衛(御)他5名			
庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	大脇村庄屋	大脇村庄屋	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋(後欠)			
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
端裏・貼紙「大脇新田」					端裏・貼紙「大脇新田」				調書番号8―18まで紐で一括						「大脇村」	端裏・貼紙「大脇新田・文政十三」	端裏・貼紙「大脇新田・文政十二」	端裏・貼紙「大脇新田・文政十一」			端裏・貼紙「大脇新田・文政八」	端裏・貼紙「大脇新田・文政七」		後欠			

14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	11		
7	6	5	4	3	2	1	8	7	6	5	4	3	2	1	3	2	1	4	
明治3年 (1870)	明治2年 (1869)	明治元年 (1868)	元治元年 (1864)	慶応3年 (1867)	慶応2年 (1866)	慶応元年 (1865)	元禄16年 (1703)	元禄15年 (1702)	元禄14年 (1701)	元禄13年 (1700)	元禄11年 (1698)	元禄9年 (1696)	元禄8年 (1695)	元禄7年 (1694)	弘化4年 (1847)	弘化3年 (1846)	弘化2年 (1845)	正徳5年 (1715)	
11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	10月 日	10月 日	10月 日	10月 日	10月 日	10月 日	10月 日	10月 日	11月 日	11月 日	11月 日	10月28日	
午年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	辰年貢可納割付之事	子年貢可納割付之事	卯年貢可納割付之事	寅年貢可納割付之事	丑年貢可納割付之事	未年田畠御物成可納割付之事	付之事	付之事	巳年田畠御物成可納割付之事	辰年田畠御物成可納割付之事	付之事	子年免状之事	亥年免状之事	戌年免状之事	未年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	
豊橋藩庁	豊橋藩民政局 (御)	郡政方 (御)・執政方 (御)	柴取次 (御)他12名	岩角右衛門 (御)他13名	岩角右衛門 (御)他13名	柴取次 (御)他10名	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	三舍人 (御)・小弥兵衛 (御)・富外記 (御)	能栄之進 (御)他8名	能栄之進 (御)他8名	小助左衛門 (御)他7名	大彦八郎 (御)他4名
庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中	大脇村庄屋・惣百姓中
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	調書番号14―8まで紐で一括	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	端裏書「大脇新田」	調書番号12―3まで紐で一括	端裏書「大脇新田」

	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	14	調査番号
	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1	3	2	1	8	
	延享2年(1745)11月日	延享元年(1744)11月日	天保5年(1834)3月日	天保8年(1837)3月日	天保9年(1838)3月日	(年月日未詳)	天保7年(1836)12月日	宝永7年(1710)12月日	天保4年(1833)3月日	天保6年(1835)3月日	宝永6年(1709)12月日	寛延元年(1748)11月日	寛延2年(1749)10月日	寛延3年(1750)11月25日	明治4年(1871)11月日	年代
	丑年免定之事	子年免定之事	巳御年貢皆済目録	申御年貢皆済目録	酉御年貢皆済目録	辰御年貢皆済目録	未御年貢皆済目録	寅御年貢請取事	(天保四年年貢皆済目録)	午御年貢皆済目録	巳之御年貢請取事	辰年免定之事	巳年免定之事	午年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	標題
	藤田猶右衛門(御)他3名	大西助右衛門(御)他4名	平彦兵衛(御)	平熊太郎(御)	平熊太郎(御)	—	平熊太郎(御)	倉橋□□□	平彦兵衛(御)	岸十輔(御)	倉橋友右衛門(御)・小谷野加太夫(御)	大野助右衛門(御)他6名	大野奉右衛門(御)他7名	田吉兵衛(御)他9名	豊橋藩庁	差出
	大脇新田庄屋・惣百姓	大脇新田庄屋・惣百姓	右村名主・組頭・百姓代	右村名主・組頭・百姓代	右村名主・組頭・百姓代	—	右村名主・組頭・百姓代	大脇村庄屋・百□□	組頭	右之村名主・組頭・百姓代	大脇村庄屋・百姓中	大脇新田庄屋・惣百姓	大脇新田庄屋・惣百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	宛先
	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	形状
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数
	調査番号17―4まで紐で一括		端裏書「渥美郡大脇新田」	端裏書「三州渥美郡雲谷村内大脇新田」	端裏書「三州渥美郡雲谷村内大脇新田」	後欠 端裏書「渥美郡雲谷村内大脇新田」	端裏書「三州渥美郡大脇新田」	破損 端裏書「大脇村」	前欠	端裏書「渥美郡雲谷村内大脇新田」	端裏書「貼紙「大脇新田」	端裏書「貼紙「大脇新田」	端裏書「貼紙「大脇新田」	紙「大脇新田」	調査番号15―3まで紐で一括 端裏書・貼紙「大脇新田」	備考

21	21	21	21	21	20	20	20	19	19	19	18	18	18	18	18	17	17
5	4	3	2	1	3	2	1	3	2	1	5	4	3	2	1	4	3
寛政8年 (1796) 月 日	寛政9年 (1797) 月 日	寛政10年 (1798) 11月 日	寛政11年 (1799) 10月 日	寛政12年 (1800) 月 日	享和3年 (1803) 11月28日	享和2年 (1802) 11月30日	享和元年 (1801) 11月29日	寛保3年 (1743) 11月 日	寛保元年 (1741) 11月 日	寛保2年 (1742) 11月 日	元文5年 (1740) 11月 日	元文4年 (1739) 11月 日	元文3年 (1738) 11月 日	元文2年 (1737) 11月 日	元文元年 (1736) 11月 日	延享4年 (1747) 11月 日	延享3年 (1746) 11月 日
辰年貢可納割付之事	巳年貢可納割付之事	午年貢可納割付之事	未年貢可納割付之事	申年貢可納割付之事	亥年貢可納割付之事	戌年貢可納割付之事	酉年貢可納割付之事	寅年免定之事	酉年免定之事	戌年免定之事	申年免定之事	未年免定之事	午年免定之事	巳年免定之事	辰年免定之事	卯年免定之事	寅年免定之事
村弥惣兵衛(御)他7名	石主計(御)他7名	石主計(御)他7名	波久助(御)他6名	波弥一右衛門(御)他6名	倉源左衛門(御)他8名	倉源左衛門(御)他7名	倉源左衛門(御)他7名	大西助右衛門(御)他4名	大西助右衛門(御)他5名	大西助右衛門(御)他4名	大西助右衛門(御)他5名	大西助右衛門(御)他5名	大西助右衛門(御)他5名	大西助右衛門(御)他5名	藤田猶右衛門(御)他5名	高橋新十郎(御)他7名	高橋新十郎(御)他6名
庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	庄屋・百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓	大脇新田庄屋 ・惣百姓
状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	調書番号21―11まで紐で一括	端裏・貼紙「大脇新田」	端裏・貼紙「大脇新田」	調書番号20―3まで紐で一括		調書番号19―3まで紐で一括						調書番号18―5まで紐で一括		

調査番号		年代		題題		差出		宛先		形状		員数		備考	
30	2														
30	1														
29															
28															
27															
26															
25															
24															
23															
22	9														
22	8														
22	7														
22	6														
22	5														
22	4														
22	3														
22	2														
22	1														
21	11														
21	10														
21	9														
21	8														
21	7														
21	6														
(年月日未詳)		寛政7年(1795)	月	日	卯年貢可納割付之事		村弥惣兵衛(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		寛政5年(1793)	月	日	丑年貢可納割付之事		村弥惣兵衛(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		寛政4年(1792)	月	日	子年貢可納割付之事		大市郎右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		寛政3年(1791)	月	日	亥年貢可納割付之事		大市郎右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		寛政2年(1790)	月	日	戌年貢可納割付之事		大市郎右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		寛政元年(1789)	月	日	酉年貢可納割付之事		大市郎右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1					
(年月日未詳)		明和9年(1772)	月	日	辰年貢可納割付之事		柳五郎左衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	調書番号22 9まで紐で一括				
(年月日未詳)		明和8年(1771)	月	日	卯年貢可納割付之事		柳五郎左衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和7年(1770)	月	日	寅年貢可納割付之事		柳五郎左衛門(御他6名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和6年(1769)	月	日	丑年貢可納割付之事		柳全之丞(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和5年(1768)	月	日	子年貢可納割付之事		安金右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和4年(1767)	月	日	亥年貢可納割付之事		安金右衛門(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和3年(1766)	月	日	戌年貢可納割付之事		酒三十郎(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和2年(1765)	月	日	酉年貢可納割付之事		倉華太(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		明和元年(1764)	月	日	申年貢可納割付之事		倉華太(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		安政3年(1856)	月	日	辰年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他9名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		安政4年(1857)	月	日	巳年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他9名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		安政5年(1858)	月	日	午年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他8名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		安政6年(1859)	月	日	未年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他8名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		万延元年(1860)	月	日	申年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他8名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		文久元年(1861)	月	日	酉年貢可納割付之事		宇兵蔵(御他8名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)		文久2年(1862)	月	日	戌年貢可納割付之事		柴取次(御他7名)	庄屋・百姓	状	1	端裏・貼紙「大脇新田」				
(年月日未詳)					某年年貢割付状断簡				状	1	「大脇新田」				

48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
明治7年(1874) 5月	明治5年(1872) 12月	(明治3年(1870)カ) 明治3年(1866) 3月	慶応2年(1866) 3月	(明治) 2月～10月	弘化5年(1848) 3月	明治5年(1872) 10月	(明治)	明治6年(1873) 5月	(明治)	(明治)	(明治)	(明治カ)	(明治カ)	(明治カ)	明治8年(1875) 12月	明治4年(1871) 10月16日	明治8年(1875) 1月25日
村費書上調	壬申村入用取立帳	(勘定書上帳断簡)	村金之帳	村継御用状人員取調帳	田方荒地定引年々引書 上帳下夕	地代金取調帳	三河国渥美郡大脇新田 三番字木引	三河国渥美郡第拾五區 二小區大脇新田検帳	(人別所有地代帳)	(村入用金銭徴収帳)	(地番別收穫高所有者 書上)	(人別米金銭書上帳断 簡)	(金銭書上帳断簡)	(人別書上帳)	亥御年貢米取立覚帳	未御年貢覚帳	御年貢米帳
—	戸田佐市	—	—	—	大脇新田長百姓源次郎・ 庄屋源蔵	—	大脇新田	—	—	—	—	—	—	—	大脇新田山本虎吉	大脇新田佐市	大脇村惣代虎吉
—	—	—	—	—	富田小藤次・ 佐藤才次・三 浦深右衛門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
竖冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
領地の地代書上	1月～6月分(実際の金額が記入されているのは1, 2月分のみ) 紙背に旧寺社	挟み紙(入用金銭書上の覚) あり	「明治三年午年官入費」	「丑年分、源次郎分、免七」	雲谷村、中原村、原村、下岩崎村、飯村	—	地籍図写し	表紙「二十六反四せ二十三分せり」	—	前欠	前欠	雲谷、二川など	貸付関係カ	前欠 米の貸付に関わるものカ	「亥年、愛知県下 三河国渥美郡大脇新田米主」	—	「二川村東町」「中町」など

調書番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
49	明治6年(1873) 12月25日	西年村入費取立覚帳	戸田佐市	―	堅冊	1	人別金銭書上
50	(明治7)	(二)川村略図、大脇新田略図	副戸長馬場彦十郎	―	絵図	3	―
51	明治8年(1875)	亥年貢取立扣	―	―	堅冊	1	人別年貢納入分書上
52	(年月日未詳)	(金銭書上帳)・辰十二月村金利益	―	―	堅冊	2	帳簿2冊一綴り
53	(年月日未詳)	(勘定書上帳)	―	馬場彦十郎	横冊	1	「むね上入用」「もち米きはん」などとり白山社関係カ
54	(明治)	(川崎屋領収書)	川和、川崎屋和四郎	―	状	10	人別金銭書上
55	明治7年(1874) 2月16日	地券諸入用取立帳	戸田佐市	―	横冊	1	―
56	(明治)	人別収種高納入分書上	―	―	横冊	1	戸田佐市、山本虎吉など
57	(年月日未詳)	(人別土地高書上帳)	―	―	横冊	1	―
58	明治5年(1872) 11月26日	壬申御貢米取立覚帳	―	―	横冊	1	人別高書上帳
59	明治7年(1874) 12月	戌御年貢米取立覚帳	戸田佐市	―	横冊	1	人別米金納入高書上 末尾「甲戌貢米愛知県管轄三河国渚美郡大脇新田米主」
60	明治6年(1873) 12月5日	酉御年貢米帳	戸田佐市	―	横冊	1	戸田佐市は大脇新田「副戸長助」
61	明治8年(1875) 1月	(人別人数金銭書上帳)	山本虎吉	―	横冊	1	「川地けん廻」「村廻地けん」
62	(明治)	(人別地券諸入用書上)	―	―	横冊	1	山本姓、加藤姓、村田姓、鈴木姓など
63	(明治)	(人別地代・貢米書上帳)	―	―	横冊	1	―
64	文久2年(1862) 12月	村表帳	―	―	横冊	1	調書番号64から124まで封筒「新田高帳」入り 人別金銭書上
65	文久2年(1862) 12月	高田年貢元帳	―	―	横冊	1	人別高書上 末尾に「大脇新田」
66	天保12年(1841)	新田高帳 大脇新田	―	―	横冊	1	人別高書上
67	享保19年(1734) 9月	新田畑荒地書上帳 大脇新田	雲谷村庄屋久五郎(印)・組頭平三郎(印)・大脇新田百姓長作(印)	―	横冊	1	人別田畑高書上

78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68
(近世)	天保3年(1832)	(元禄6年(1693))	①文化2年(1806) ②天明5年(1785) ③天明5年(1785)	明治8年(1875)・明治9年(1876)	(明治カ)	(明治初頭)	天保9年(1838)	弘化4年(1847)	天保10年(1839)	享保14年(1729)
	9月10日	5月15日	4月14日 4月 5月				12月	2月	2月20日	7月
①大脇新田已年之かり分覚・(②藤川役に関する金銭書上)	田畑本免一筆限小前帳	返号(元禄6年分年貢米皆済につき書状)	①荒地定引年々引御改帳・②荒地定引書上帳・③荒地年々引き書上帳	(大脇新田諸勘定書上帳)	(人別金銭書上)	(額田県御庁違書写・習書)	ふじき長	田方起掃場所御案内帳下 大脇新田	荒地定引年々引御改帳下 大脇新田	大脇新田定引書上帳
		河野平右衛門(御)	① ②庄屋・組頭 庄屋・組頭 ③	馬場彦十郎				大脇新田長百姓源吉・庄屋 □□	大脇新田百姓代清六・庄屋源蔵	雲谷村庄屋惣左衛門・同組頭平三郎・同断七郎・大脇新田百姓代清六
		雲谷村之内大脇新田分惣右衛門殿・十郎次殿	① ②富沢清助・染矢□ 左衛門 ③富沢清助・染矢良左衛門					富田小藤次 様・佐藤才次 様・三浦深石 衛門様	木村甚助様・代富田小藤次様・代森本志助様	
状	横冊	状	横冊	横冊	状	状	横冊	横冊	横冊	横冊
2	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1
2通一継ぎ	人別土地高書上		3冊一綴り ①奥書に「文化十四年」とあり	大脇新田の公費に関わる出納の記録(宮関係など)	後欠(端裏書)「雲谷村富田太内・庄屋中・□□飯村今□□」	大脇村差図	人別人数金銭書上 末尾「戸田源蔵」			虫損

95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	調書番号		
享保14年(1729) 7月28日	弘化4年(1847) 2月12日	天保3年(1832) 6月日	(明治以降)	弘化2年(1845)	(年月日未詳)	(近世)	(年月日未詳)	(近代カ)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	天保7年(1836) 12月25日	寛延3年(1750) 7月	享保14年(1729) 9月	天保10年(1839) 2月20日	(明治)	年代		
百姓居林持林書上帳 別帳	田方起婦り年貢取立反 別帳	荒地定引年々引御改帳 下	記(人別松木入用金書 上げ)	(分米金預り、書状)	(人別土地高・小作料・ 年貢入用書上げ)	上げ)	(幸作分田畑別分米書 上げ)	(松木入用金書上げ)	覚(人別代金書上げ)	地券人足扣(人別人足 賃書上げ)	(人別米石高書上げ)	覚(善蔵・作蔵からの 請取金書上げ)	大脇新田年米入用帳	畑方荒地御改帳	大脇新田大検見御案内 帳	荒地定引年々引御改帳 下	覚(人別地代金書上)	標題	
大脇新田清六	大脇新田清六	大脇新田百姓代清六・名 主源蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	大脇村代蔵	差出
三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	三村逸八・村 松伊左衛門	宛先
横冊	横冊	横冊	状	状	横冊	状	状	横冊	状	横冊	状	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊	形状
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数
				奥書に人名「東庄右衛門」								(裏表紙墨書)「村入用帳 原蔵」	人別金銭書上	土地別取穂高書上	人別土地高書上				備考

112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96
(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年次未詳) 戊午12月	(年月日未詳)	(年次未詳) 5月	万延2年(1861) 2月8日	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年次未詳) 6月25日	(年次未詳) 10月23日	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(明治以降カ)	(明治カ)
御用書帳五冊入	(絵図面の断片)	(地券書上帳持参につき書付)	覚(大富蔵分年貢納覚カ)	覚(買物覚カ)	覚(金銭書上)	(三ツ谷清次郎より中町三ツ田屋へ田畑分高覚)	記(やまよびだしのと き他、人名書上)	(利左衛門分年貢金銭 差引覚)	記(土地譲り渡しのこと と)	(触状、村別人足・馬 割当てのこと)	キ(代金受取書)	(人別地代金書上げ)	(人名書上げ)	(人別金銭書上げ)	錢書上げ)	亥年村合(貸借金等金 記(人別金銭書上げ)
雲谷村定次郎			庄や定次郎(御)						下細谷村金七	中村哲兵衛・富田太内・ 久野丈助	土屋相介					
大脇新田御庄 屋中									二川村御役人 衆中		二夕川町 戸 田愛治郎					
状	絵図	状	状	折紙	状	折紙	折紙	折紙	状	状	状	横冊	状	状	状	状
1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
定次郎	(端書) □御菓子料 青銅二十疋 戸田		「壹」の紙片あり	帳くずれカ	伝次郎分カ		「第拾五号壹番」分の荒地12年分「不子中」 の書上げもあり	帳くずれ								

調査番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
113	(年月日未詳)	覚(長助分の分米を 三六から左兵衛へ入)	三六		状	1	貼紙あり
114	(年月日未詳)	(田畑反別分米書上)			状	1	
115	(年月日未詳)	(金銭貸借覚)			折紙	1	
116	(年月日未詳)	(買物覚々)			状	1	
117	(年月日未詳)	(金銭請取書付)			状	1	
118	(年月日未詳)	(畑高書上げ札)			状	1	
119	(年月日未詳)	おほへ(紙代請取)	勘念(仰)	大わき 嘉ミ や様	状	1	
120	(年月日未詳)	(田書上札)			状	1	庚申田南元屋敷尻
121	(年月日未詳)	(紙片)			紙片	1	
122	文化14年(1817)12月	丑御年貢納通	木村甚助・近藤戸八 (仰)・染矢兵左衛門(仰)	庄屋・百姓中	状	2	調書番号122-1-122-38まで「年貢納通」 封筒入
2	文政元年(1818)12月5日	寅年貢納通	木村甚助(仰)・近藤戸八 (仰)・染矢兵左衛門(仰)	庄屋・百姓中	状	1	
3	文政3年(1820)12月5日	辰御年貢納通	木村甚助・近藤戸八 (仰)・川田紀兵衛(仰)	庄屋・百姓中	状	1	
4	文政4年(1821)3月	巳年貢納通	木村甚助・近藤戸八・川 田紀兵衛		状	1	
5	文政6年(1823)12月5日	未年貢納通	富田小藤次・木村甚助 (仰)・川田紀兵衛	庄屋・百姓中	状	1	
6	文政7年(1824)12月4日	申年貢納通	福甚兵衛(仰)・富田小藤 次(仰)・川田紀兵衛	庄屋・百姓中	状	1	
7	文政8年(1825)12月5日	酉年貢納通	佐藤才次(仰)・富田小藤 次(仰)・川田紀兵衛(仰)	庄屋・百姓中	状	1	
8	文政9年(1826)12月5日	戌年貢納通	佐藤才次(仰)・富田小藤 次(仰)・川田紀兵衛(仰)	庄屋・百姓中	状	1	

123	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	調査番号
1	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24		
明治41年(1908)10月	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)	弘化4年(1847)12月5日	(近世)	文久3年(1863)12月16日	文久2年(1862)12月18日	文久元年(1861)12月5日	万延元年(1860)12月5日	安政6年(1859)12月5日	安政5年(1858)12月5日	安政4年(1857)11月28日	安政2年(1855)12月11日		年代
白山神社豫算簿	卯年貢納通	子年貢納通	巳年貢納通	卯年貢納通	子御年貢納通	未年貢納通	丑年貢納通	亥年貢納通	戌年貢納通	酉年貢納通	申年貢納通	未年貢納通	午年貢納通	巳年貢納通	卯年貢納通		標題
二川長二川大脇氏子惣代						三浦深右衛門(御)・佐藤才次(御)・富田小藤次(御)		西岡谷右兵衛(御)・間藤泰助(御)・橋本俊蔵(御)	橋本俊蔵(御)	間藤泰助(御)・杉本百助(御)・橋本俊蔵(御)	間藤泰助(御)・中村哲兵衛(御)・橋本俊蔵(御)	間藤泰助(御)・中村哲兵衛(御)・橋本俊蔵(御)	間藤泰助(御)・中村哲兵衛(御)・橋本俊蔵(御)	間藤泰助(御)・橋本俊蔵(御)	戸田軍六(御)・中村哲兵衛(御)・橋本俊蔵(御)	木村甚助(御)・三浦深右衛門(御)・佐藤才次(御)	差出
庄屋・百姓中						庄屋・百姓中		庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	庄屋・百姓中	宛先
綴	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	状	形状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数
調書番号123-1、123-14まで「村人用帳No.2」封筒入り 領収証5枚(明治42年「小松屋」1枚、大正8、9年「船形講会所」4枚)あり 氏子惣代は山本吾吉、戸田愛次郎、戸田國蔵、社掌は穂永真亮												貼紙あり					備考

調書番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
124	昭和22年(1947) 6月21日	保安林解除申請に付告示の件	愛知県経済部長(印)	渥美郡二川町白川社殿	綴	1	封筒あり「愛知県渥美郡二川町役場」↓「二川大脇戸田源造殿」
124	明治6年(1873) 5月	地券證申受帳	三河国渥美郡第十五大区二小区大脇新田		堅冊	1	
124	明治6年(1873) 9月28日	三河国渥美郡白山社除地其外取調帳	三河国渥美郡大脇新田右村副戸長助 戸田佐田		堅冊	1	
124	明治42年(1909) 9月20日	(土地所有権移転登記属託請求書等)	村社白山神社々掌穗永真亮・白山神社氏子総代戸田国藏(印)・戸田愛次郎・山本吾吉	帝室林野管理局長官 子爵渡邊千秋殿	綴	1	12通一綴り
124	明治40年(1907) 9月17日	当大脇協有金基帳	大脇総代		堅冊	1	
124	大正元年(1912) 9月	(大脇協有財産決算報告書等)	協有財産管理人戸田国藏(印)		綴	1	5通一綴り
124	明治42年(1909) 大正8年(1919)	御指令書綴			綴	1	白山社関係10通一綴り
124	明治41年(1908) 7月18日	神社二関スル諸規則綴	内閣総理大臣侯爵桂太郎・内務大臣男爵平田東助・司法大臣子爵岡部長職		綴	1	
124	(大正2年(1913)カ)	受取証(大正元年度財産目録、大正二年度財産目録、積立金)			罫紙	1	後欠
124	明治43年(1910)	渥美郡二川町大字二川字大脇ノ地図	戸田国藏(印)		絵図	1	
17	昭和40年(1966) 11月22日	保安林の指定施業要件の指定について(通知)	愛知県知事(印)	森林所有者殿	状	1	印刷物 封筒あり「愛知県庁」↓「白山社氏子総代殿」「保安林に関する書類」

125	125	125	125	125	125	125	124	124	124
7	6	5	4	3	2	1	20	19	18
明治13年(1880) 4月7日	明治7年(1874) 10月	明治7年(1874) 7月	明治7年(1874) 9月	明治6年(1873) 5月	昭和2年(1927) 3月5日	明治43年(1910) 子総代扣	明治43年(1910)	明治41年(1908) 大正5年(1916)	昭和22年(1947) 昭和22年(1947) 11月10日
議定書 二川村字大脇	(白山社土地届出)	新田費 第拾五大區二小區大脇	脱走の者届・成丁簿・ 脱走連名簿・成丁連名 簿	三河國渥美郡第拾五大 區二小區大脇新田地佃 仕出帳	二川邑白山神社提呈 新立林登記済書類綴	白山神社雑費綴 当氏 子総代扣	白山神社保安林許可書 綴	白山神社年々度予算帳 (1916)	①職員給与規定 ② (神職俸給御支給願)
本とら吉(御)・戸田福平 (御)・戸田代蔵(御)	二夕川村戸田富蔵(御)・ 山本平三郎(御)・戸田松 治(御)・山本長吉(御)・山 本とら吉(御)・戸田福平 (御)・戸田代蔵(御)	右村副戸長 馬場彦十 郎・山本直一郎	第拾五大區二小區二川村 副戸長 山本直一郎・馬 場彦十郎	渥美郡第拾五大区内小二 區大脇新田 副戸長助戸 田佐市(御)小式区戸長金 子晋(御)	戸田国蔵新調	書記戸田国蔵	当字氏子総代	渥美郡二川町大字二川字 大脇式号氏子総代	①愛知県神社庁長長谷外 余男 ②愛知県神社庁 渥美郡支部長 川澄才 長殿
戸長馬場彦十 郎殿	—	—	—	—	—	—	—	—	①各余社宮司 各郡市支部長 殿 ②神社総 代蔵 奉賛会 長殿
豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	豎冊	状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
			「大脇新田村控」	十五大區長富田若水奥書印あり 表紙に 印あり「伊東」「廣中」	「土地所有権保存登記囑託他」土地関係 (裏表紙)「明治四拾參年白山神社雑費綴 五組規則諸綴 当字氏子総代扣」	調書番号125―1から125―19まで「白山社 関係」封筒入り 朱書きあり	昭和28年(1953)～30年(1960)所有権 移転登記申請書等あり	封筒1枚挟み込み(愛知県渥美郡二川 町役場)↓「戸田国蔵殿」「明治四十二 年度残り日持入用」10銭硬貨入り	ガリ版刷り 封筒あり(「氏子総代戸田 健次殿」宛)

126	126	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	調査番号
1	1	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8		
2	1														
安政3年(1856) 4月吉日	昭和5年(1930) 2月	(年月日未詳)	(年月未詳) 14日	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年月日未詳)	元治元年(1864) 4月3日	(年月日未詳)	(年月日未詳)	(年次未詳) 辰年12月14日	大正12年(1923) 9月16日	大正8年(1919) 9月	年代	
宮入用帳	白山社殿改築日誌	こより紐	(深吉殿より勘用地に なる場所についての書 状)	(田畑分米書上)	(善五郎分年貢書上 覚カ)	(多年水番人名書上)	(荒地を山畑とするに つき願書下書)	田村善蔵に納める田 畑分米書上)	覚(深や山代金等につ き)	(地代金納覚控え)	返納物請取につき覚)	典入要雑費	大正八年度白山社祭典 入費	標題	
			田村						うのや村		(印) 山上道一郎手代山口順蔵	川合喜一・安藤市五郎 氏子総代 戸田愛次郎・ 氏子総代 戸田愛次郎・ 神藤新作・加藤権七	氏子総代 戸田愛次郎・ 神藤新作・加藤権七	差出	
			馬場					田村善蔵	屋中	名主百姓代	田	渥美郡大脇新		宛先	
横冊	横冊	紐	状	状	折紙	折紙	状	状	状	状	状	状	状	形状	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数	
「十作・兵蔵」	調査番号126-1-1から126-1-7まで 「宮入用帳」封筒入り 2月8日〜9月 25日分(裏表紙)「大脇氏子中」 (裏表紙)「大脇新田村中」せわ人源次郎・		字川端の下畑と字丁田の下田を勘用地に	前欠	帳くすれ 裏書きに弁天への誓文あり 帳くすれ 入札により天保11年(1840) より割場 善五郎は万延元年(1860)茂 七屋敷へ移る	う	荒地を山畑として取り扱われるように願 う	「端裏書」元治元年四月三日改 田村善 蔵との 庄衛門との	前欠 天保7年(1836)12月、嘉永3年 (1860)、安政5年(1868)12月					備考	

126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126
2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
7	6	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3
昭和22年(1947)12月	昭和23年(1948)	(年月日未詳)	昭和41年(1966)3月22日	昭和22年(1947)11月4日	昭和24年(1949)	(年月日未詳)	嘉永2年(1849)8月吉日	明治6年(1873)8月17日	明治4年(1871)2月吉日	明治3年(1870)9月吉日	安政7年(1860)6月吉日
農地改革に依り白山社所有畑地を小作人に譲渡す	買取令書の送付について	農地証券買上償還実施について	農地被買取者給付金認定通知書	社寺有小作地開放について	買取令書の対価及報償金除外修正通知書	(書簡封筒)	宮入用帳	白山社まつり入用覚帳	宮田入用覚帳	御宮入用帳	宮入用帳
―	二川町農地委員会長田中万次郎	同組合・日本勧業銀行豊橋支店	二川町農地委員会・二川町農業協同組合・小澤農業協同組合・細谷農業協同組合	愛知県知事桑原幹根	二川町農地委員会長田中万次郎	愛知県知事青柳秀夫	―	大脇新田庄屋御山見左市・ねぎくみがしら御山見長吉	―	―	―
白山社代表戸田助蔵	―	戸田助蔵	村田郁郎	白山社	各宗教法人代表者	白山神社	―	―	―	―	―
状	状	状	状	状	状	封筒	横冊	横冊	横冊	横冊	横冊
1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1
	農地発号外 ガリ版			印刷物	農地第三八七号		〔裏表紙〕「大脇新田村」 調書番号126―2―1から126―2―10まで	〔八月十七日より八日迄〕	〔村中 源次郎・代蔵・源蔵・平三郎・長作・寅吉・長吉・左市・メ八人〕	〔裏表紙〕「大脇新田 庄屋佐市・伝次郎・せわ人源次郎・源十・重吉・せわ人三之助・清吉・長兵衛・とら吉・メ九人〕	〔裏表紙〕「村中」

127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	126	126	126	調書番号
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	2	2	2	
											10	9	8	
明治4年(1871) 1月15日 (年月日未詳)	(年月日未詳) 3月27日	(年月日未詳)	(年月日未詳)	明治40年(1907) 8月16日	明治40年(1907) 8月16日	昭和29年(1954)	明治43年(1910) 9月10日	明治44年(1911)	大正13年(1924)	昭和38年(1963) 7月25日	昭和17年(1942) 6月13日	昭和24年(1949) 3月12日		年代
太政官御布告第三号	近火御札	領収書	取替の状	公替地取調書	明治四拾年日八月拾六日成立備惋新調人帳	昭和二十九年度赤十字社員名簿	白山神社世話方基本金台帳	徴収金決算	明治四拾四年度祭典費徴収表	大正拾参年度祭典費徴収表	農地等被買収者実態調査票の記入の仕方	(神社費の送金を求める)	た農地の対価と報償金受渡通知書)	標題
三條実義		太	豊橋阿ら屋手代宮脇喜代				戸田正義				総理府	穂永真亮	二川町農地委員会	差出
											(戸田助蔵)	神山氏	戸田助蔵	宛先
状	状	状	状	罫紙	罫冊	罫冊	罫冊	罫紙	罫冊	罫冊	状	葉書	葉書	形状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	員数
					朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	朱書きあり	備考
							欠席届1通、工事設計書1通、メモ1枚、会計受取高1枚、工夫備内訳書5枚が挟み込まれている				調書番号127-1から127-31まで「明治以降の白山社を主とした支出(収支)関係」封筒入		印刷物(鉛筆書)「昭和38年7月25日申告(豊橋市農務課)戸田助蔵」	

127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127
25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
(1921)	昭和39年(1964) 大正9年(1920)・大正10年(1921)	大正2年(1913)	大正元年(1912)	昭和38年(1963)・昭和41年(1966)	(年月日未詳)	大正13年(1924) 2月20日	大正11年(1922)	明治8年(1875) 3月10日	(明治)	明治8年(1875) 5月	(年月日未詳)	(明治)	明治10年(1877) 8月7日
入用	白山神社収支決算 白山社祭典入費及其他	白山神社収支決算 簿	大正元年度祭典費徴収 予算決定書 大正式年度祭典費領取	白山神社収支決算	二月分勸立済	大正十三年自一月 二十一日至二月二十日 工夫賃内訳書	大正拾壹年度電気新設 入費決済書	大正拾壹年度明本免入願 書	成年一ヶ年村費書上下 調	證印税上納帳	等戸出銭割合 大脇新 田	新田等戸表	(愛知新聞社刊行第貳 拾壹号)
						戸田建治		馬場彦十郎(仰)	馬場彦十郎	(仰) 山本虎吉(仰)・山本平三 郎(仰)・山本直一郎(仰)・ 馬場彦十郎(仰)・金子晋 隆聚			愛知県大書記官国貞廉平
								愛知県令鷺尾 隆聚		愛知県令鷺尾 隆聚			
状	状	堅冊	堅冊	状	罫紙	罫紙	堅冊	堅冊	堅冊	堅冊	罫紙	堅冊	状
1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
		朱書きあり	朱書きあり				朱書きあり		紙片あり				

調査番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
128	大正12年(1923) 4月12日	白山社幟及石垣新築寄附帳			横冊	2	
127	大正12年(1923) 9月16日	(領収書)		大脇宮総代	状	1	
127	(明治、大正)	(白山神社祭典入費控)		白山神社	横冊	1	朱書きあり
127	大正9年(1920)	地租領収書		加藤権七	状	2	
127	大正9年(1920) 10月20日	(領収証)			状	1	
127	(昭和、平成)	(封筒内主要文書目録)			状	1	近年の調査時のもの
128	(明治) 12月	田口久三郎□(弘カ)目録	戸長役場		状	1	調査番号128-1から128-14まで「各種届(出生・死亡)大脇以外のもの」封筒入印あり(愛知県渥美郡二川村戸長役場之印)
128	(明治) 8月	毎月調	戸長役場		状	1	
128	明治7年(1874)	諸類書上控袋	第拾五大区二小区大脇新田		竖冊	1	紙背に習書、書簡断簡
128	明治16年(1883) 12月9日・10日	死亡届書付	①大石豊太郎(御) ②野長長太郎(御) ③医員三輪見龍(御)	①愛知県三河国二川村戸長御中 ②豊田郡浦川村戸長大石豊太郎殿 ③豊田郡浦川村・川名村戸長大石豊太郎殿	綴	1	
128	明治15年(1882) 4月4日	権行等届	山本佑平次(御)	戸長唯内茂作殿	状	1	
128	明治16年(1883) 4月10日	私生届遷延二付説書	戸長鈴木藤十(御)・母みせ(御)・親戚山本栄次郎(御)・大岩村親戚鈴木彦三郎(御)	当村戸長西村栄北郎殿	竖冊	1	

129	129	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
2	1	14	13	12	11	11	11	11	11	10	9	8	7
					5	4	3	2	1				
安政5年(1858)4月	安政5年(1858)3月	(明治10年代)	明治15年(1882)～明治16年(1883)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(近世)	明治17年(1884)12月14日	明治7年(1874)2月13日	明治7年(1874)10月
宗方送り一札之事	送り一札之事	(死亡仮届他届出書付など)	(報知書、その他届出書付)	(死亡仮届・死亡届・旅行御届・埋葬願書付)	覚(勘定受取書)	銭書上げ 卯目録(鈴木藤十分金)	銭書上げ 卯目録(竹内ふよ分金)	銭書上げ 卯目録(近藤弥七分金)	か断簡一括 (午年年貢高書上げほか断簡一括)	(申年村入用帳)	死亡届書付	死亡届書付	上地御払下願
城下村大門寺(御)	城下村庄屋源六(御)			高橋小平次(御)ほか	(大岩新吉郎)	鈴木藤十	竹内ふよ	近藤弥七		庄右衛門	伊藤長三郎(御)	渥美郡二川村木村左一郎(御)	氏子総代山本平三郎・二川村兼副戸長馬場彦十郎
普門寺御知事	大脇村御役人 衆中			二川村戸長紅林茶次郎殿ほか	(馬場彦十郎)	戸長役場	戸長役場	戸長役場		馬場彦十郎	紅林茶次郎	愛知県三河国二川村戸長御中	
状	状	短冊	短冊 紙・罫	罫 短冊	罫 短冊	状	状	状	状	状	状	状	罫 短冊
1	1	33	135	7	1	1	1	1	3	1	1	1	1
	調書番号129―1から129―4まで「宗方送り」封筒入り		死亡仮届2点・金銭書付2点(1点は近世)・改印届3点・寄留届7点・帰村届18点・その他(ますす死亡届誤写につき書付)1点(紐一括)	報知書(埋葬通知)2点・死亡届49点・管内寄留届6点・帰村届7点・改印届1点・出生届70点(紐一括)	死亡仮届3通・死亡届2通・旅行御届1通・埋葬願1通				調書番号128―11―1～128―11―5は紐綴じ一括			印あり(「」連尺町「」役場印)	貼紙に朱書きあり(「東官林・南雲谷村有地」)紙背に明治7年(1874)正丁届書(田中伝次・松阪権次郎・馬場彦十郎)

134	134	134	134	134	133	133	132	131	130	129	129	調査番号
5	4	3	2	1	2	1				4	3	
(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	正徳2年(1712)11月25日	貞享3年(1686)10月28日	(明治)	(明治)	(昭和)	明治4年(1871)8月	明治3年(1870)3月	年代
岩(地籍図)	前荒田(地籍図)副図	東山(地籍図)副図	本郷(地籍図)副図	新橋町(地籍図)副図	大□(地籍図)副図	寅歳免定之事	官林木自首届	大脇新田絵図面	組合員名簿(二川土地改良区)	送籍一札之事	宗旨一札之事	標題
大字大	大字大	大字谷川	大字大岩	大字二川	辰年貢可納割付之事	寅歳免定之事	右新田兼務二川村副戸長 馬場彦十郎	二川土地改良区	二川土地改良区	沼八郎(印)	小松原喜平次(印)	差出
					大脇兵衛(印)他4名	相良市郎兵衛(印)・服部佐左衛門(印)				江国敷智郡岡崎村名主菅	豊橋御支配所三河国渥美郡大脇新田御庄屋中	宛先
					庄屋・百姓中	大脇新切庄屋・百姓中				豊橋御支配所三河国渥美郡大脇新田御庄屋中	大脇村御役人衆中	形状
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	状	状	状	絵図	堅冊	状	状	形状
1	1	1	1	1	1	1	1	14	1	1	1	員数
	(表紙貼紙)「副図□除渡」	明治廿一年異動	明治五年異動		戸田和次郎氏旧保管分	戸田和次郎氏旧保管分	故兼子永一氏旧保管分 雲谷村・中原村・大脇新田三ヶ所入会場所字サガヤ 松の木盗伐の自首届	袋付「拾九番字大脇全図」13点(1点は白山社境内図、「第拾五大区二小区三河国渥美郡大脇新田」1点)	二川・大脇・三ツ家・豊清			備考

134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	
19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	
(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	明治22年(1889)7月	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	
川(地籍図)	地蔵免(地籍図)副図 大字谷	塘上(地籍図)副図 大字谷川	美砂松(地籍図)副図 大字谷川	比舎古(地籍図)副図 大字谷川	高足道(地籍図)副図 大字大岩	反茂(地籍図)副図 大字大岩	西荒田(地籍図)副図 大字大岩	岩田(地籍図)副図 大字大岩	久保田(地籍図)副図 大字大岩	平山(地籍図)副図 大字谷川	道賢田(地籍図)副図 大字二川	鼠池(地籍図)副図 大字二川	荒古(地籍図)副図 大字大岩	南裏(地籍図)副図 大字二川
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		(表紙貼紙)「加除□□」		(表紙貼紙)「本図切入□」	(表紙貼紙)「本図切込」		(表紙貼紙)「本図切入□」		明治二十二年異動			(表紙貼紙)「本図切込渡」		

														調査番号
134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	20
33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	
明治22年 (1889) 7月	明治22年 (1889) 7月	明治22年 (1889) 7月	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	年代
南 副図 (地籍図) 大字 谷川	壱町田 副図 (地籍図) 大字 谷川	瓶焼 副図 (地籍図) 大字 谷川	大脇ノ谷 副図 (地籍図) 大字 谷川	大脇 副図 (地籍図) 大字 二川	菅池 副図 (地籍図) 大字 大岩	北田 副図 (地籍図) 大字 大岩	東向山 副図 (地籍図) 大字 二川	西向山 副図 (地籍図) 大字 二川	中原 副図 (地籍図) 大字 二川	北裏 副図 (地籍図) 大字 二川	四歌町 副図 (地籍図) 大字 二川	境目 副図 (地籍図) 大字 大岩	谷畑 副図 (地籍図) 大字 谷川	標題
														差出
														宛先
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	形状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数
[明治廿二年七月調製]とあり	[明治廿二年七月調製]とあり	[明治廿二年七月調製]とあり〔表紙貼紙〕 〔加除渡〕			〔表紙貼紙〕「本図へ切込」	〔表紙貼紙〕「本図切込渡」		〔表紙貼紙〕「本図切込渡」	〔表紙貼紙〕「本図切込渡」			〔表紙貼紙〕「本図切込渡」	表紙貼紙あり	備考

134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134
45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34
(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	明治22年(1886)7月	明治22年(1886)7月	(明治)	(明治)
四十八冊ノ内第七号 川村 地籍字堂ノ前図面 谷	四十八冊ノ内第五号 川村 地籍字下ヶ谷図面 谷	四十八冊ノ内第三号 川村 地籍字山ミ子図面 谷	四十八冊ノ内第壹号 川村 地籍字ナベ山図面 谷	地籍字ナベ山下図面 谷川村	(地籍図) 地歩 副図 大字谷川	(地籍図) 村東 副図 大字谷川	(地籍図) 大下 副図 大字谷川	(地籍図) 中嶋 副図 大字谷川	東荒神 副図 大字谷川(地籍図)	(地籍図) 蔵社 副図 大字谷川	(地籍図) 通 副図 大字谷川
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
表紙貼紙あり	表紙貼紙あり	表紙貼紙あり		表紙なし	[明治廿二年七月調製]とあり	表紙貼紙あり		[明治廿二年七月調製]とあり	[明治廿二年七月調製]とあり		

134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	調書番号	
57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46		
(明治)	(明治)	明治22年(1889)7月	(明治)	(明治)	明治22年(1889)7月	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	年代	
(地籍図)	峰畑 副図 谷川(地籍図)	堤下 副図 (地籍図)	西荒神 副図 谷川(地籍図)	堤北 副図 (地籍図)	東谷 副図 (地籍図)	南山 副図 (地籍図)	四十八冊ノ内第十二号 川村	四十八冊ノ内第十二号 川村	四十八冊ノ内第十一号 川村	四十八冊ノ内第九号 川村	四十八冊ノ内第八号 川村	四十八冊ノ内第七号 川村	標題
大字谷川	大字	大字谷川	大字谷川	大字谷川	大字谷川	大字谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	差出
													宛先
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	形状
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	員数
		[明治廿二年七月調製]とあり[表紙貼紙]「加除渡」	[表紙貼紙]「加除渡」		[明治廿二年七月調製]とあり				表紙貼紙あり		表紙貼紙あり		備考

134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	
68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	
(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	明治22年(1889)7月	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	
号 村 四十八冊ノ内第四十二	号 谷川村 四十八冊ノ内第四十一	地籍字上西ノ谷図面 谷川村 四十八冊ノ内第四十号	地籍字下西ノ谷図面 谷川村 四十八冊ノ内第四十号	中ノ谷 副図 大字谷川(地籍図)	地籍字地藏免図面 谷川村 四十八冊ノ内第四十号	供養塚 副図 大字谷川(地籍図)	荊又 副図 大字谷川(地籍図)	猪山 副図 大字谷川(地籍図)	二十九面ノ内第十七号 村 地籍字反茂図面 大岩	二十九面ノ内第十六号 村 地籍字荒古図面 大岩	上西ノ谷 副図 大字谷川(地籍図)
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
				紙あり 「明治廿二年七月調製」とあり 表紙貼		披見不可					

調査番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考	
134	134	134	134	134	134	134	134	
77	76	75	74	73	72	71	70	
(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	
号 村 地籍字川通図面 谷川 四十八冊ノ内第二十二	村 地籍字岩前図面 谷川 四十八冊ノ内第十九号	村 地籍字岩西図面 谷川 四十八冊ノ内第十八号	村 地籍字堤下図面 谷川 四十八冊ノ内第十七号	村 地籍字瓶焼図面 谷川 四十八冊ノ内第十六号	村 地籍字東山図面 谷川 四十八冊ノ内第十五号	川村 地籍字中ノ谷図面 谷川 四十八冊ノ内第十四号	号 村 地籍字刈又図面 谷川 四十八冊ノ内第四十五	号 川村 地籍字美砂松図面 谷川 四十八冊ノ内第四十四
絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	
1	1	1	1	1	1	1	1	
				表紙貼紙あり				

134	134	134	134	134	134	134	134
101	100	99	98	97	96	95	94
明治17年 (1884)	明治17年(1884)、18年(1885)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)	(明治)
地籍字分全図	地籍帳総計	地籍字分全図	地籍字通土井ノ口図面 谷川村 四十八冊ノ内第四十七号	地籍字村東図面 谷川村 四十八冊ノ内第四十六号	地籍字村東図面 谷川村 四十八冊ノ内第三十七号	地籍字峰畑図面 谷川村 四十八冊ノ内第三十六号	地籍字蔵社図面 谷川村 四十八冊ノ内第三十五号
		三河国渥美郡上細谷村地主総代□田佐平(卿)・〔八左衛門(卿)・村田重右エ門・朝倉市兵衛(卿)・小田勝三郎(卿)・朝倉半六(卿)・村田瀧次郎(卿)・朝倉佐野次郎(卿)・村田宝作(卿)・戸長朝倉清右エ門					
絵図	豎冊	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図	絵図
1	1	1	1	1	1	1	1
渥美郡上細谷村	渥美郡寺沢村	渥美郡上細谷村 全図完存					
表紙と一紙残存							

調査番号	年代	標題	差出	宛先	形状	員数	備考
134	(明治)	地籍字限図面			絵図	1	〔三冊之中第二〕 渥美郡上細谷村 表紙のみ残存
134	(明治)	地籍字限図面			絵図	1	〔三冊之中第三〕 渥美郡上細谷村 表紙と一紙残存
105	(明治)	(地籍字分全図)			絵図	4	裏表紙のみ残存
104	(明治)	地籍字分全図			絵図	1	渥美郡小松原村 表紙のみ残存

解題

大脇新田戸田家文書は、三河国渥美郡大脇新田の庄屋を務めた戸田源藏家に伝来した。一九六〇年前後に分家筋の戸田新一家に新造された蔵に移されている。文書の存在は地元ではよく知られていたようで、郷土史家らによりしばしば調査され、豊橋市史の編纂時にも調査員が訪れたこともあるという。蔵に移される際に他の分家に分けられたものや、その後の調査の折に持ち出されたものなどがあり、この段階で一部の文書が散逸している。その後、一九八七年に当時の町内会長により整理が行われ、一九九四年には大脇町自治会に寄託されて、再整理のうえ、大脇町公民館の金庫に保管された。その際、内容分類のうえ茶封筒やビニール紐で小分けされている。

服部 光真



今回行った当研究会の調査では、文書全点について調査を作成し、整理番号を付して中性紙封筒、中性紙箱に収納した。現状の記録保存のため、従来の分類を踏襲し、順番の入替えなどは行わなかった。本目録では、茶封筒、ビニール紐、もともとのこより紐による従来の分類ごとに親番号を付し、中身の文書ごとに子番号、必要に応じて孫番号を、順に付した。なお、旧字、異体字は原則として常用漢字に改めた。

合わせて、地元住民の方々からの聞き取りにより、古地名、伝承等の調査を行い、歴史的地名等分布図を作成した。調査の過程において、地元住民の故兼子永一氏著『大脇史』『二川墓碑考』の稿本がご子孫のお宅より見いだされ、大脇町自治会に寄贈された。昭和三十八年（一九六三）に執筆されたもので、当時伝えられていた大脇の口碑や古地名の由来等が記録されるとともに、大脇新田戸田家文書も参照されて著されている。大脇についてのまとまった唯一の地誌であり、現時点では貴重な情報も多く含まれている。今回の歴史的地名等分布図作成に際しても参照した。

文書は近世から近代にかけての五三八点からなるが、今回の調査では、他家に保管されてきた三点の文書を加えて、全五四一点を確認した。以下、特徴をいくつか指摘しておく。

近世の年貢割付状は、貞享三年（一六八六）を初見とし、明治四年（一八七二）まで、ほぼ毎年分の一七〇点余りが残存している。貞享三年の年貢割付状【一三三二】に大脇新田の高は一五石四斗四合三勺とみえる。明治九年（一八七六）段階でも二町四反四畝七歩、七戸、四十二人と確認でき、小規模な類に属する村落であった。天保十二年（一八四一）新田高帳【六六】は、田地ごとに所在地名、収穫石高、取米、所有者の名が記されており、基本史料となる。「木引下」「くりの木沢」「清水谷」「七まがり」「川田」など現在にも伝わる地名を拾うことができる。

普門寺との関係を示す文書は多くないが、安政五年（一八五八）宗門送り状【二九二二】は大脇新田に普門寺の檀家が存在したことを示す。寺檀関係以外では、普門寺住持が大脇新田の氏神である白山妙理大権現社（白山神社）の社殿造営の際に遷宮導師を代々勤めていることが普門寺文書や白山神社所蔵棟札などから分かっており、諸文書群の有機的な連関を踏まえた考察が必要などころである。詳細は不明ながら、元治元年（一八六四）の田畑分米書上【二二五二】

「一三」は二川宿の田村善蔵へ納める分であり、また、雲谷村へ納める山代金【二五―一二】、雲谷村や中原村との入会地字サガヤの存在【一三二】など、周辺村落との具体的な関係性についても示唆に富む。

明治期に入ると、大脇新田は渥美郡第十五大区二小区に属し、一村落として維持されて、引き続き村入用帳、宮入用帳などが独自に作成された。その後、同九年（一八七六）には二川村と合併する^③。その間、戸田源蔵家の佐市が二川村戸長・副戸長のもとで大脇新田副戸長助を務めており、戸長役場に関わる文書が一部残存する。合併以後も、「二川村字大脇」として大脇新田の枠組みでの自治機能を一部留保しているようである【二五―一七】。大正期にかけては氏子総代を中心とする白山神社の運営がその機能の中心となり、祭典費徴収帳などの帳簿類や神社財産関係書類等が残される。地籍図は一〇五点伝存しており、本文書群を特色づけている。上細谷村の地籍字分全図【一三四―九九】のほか、谷川、大岩など近隣村落の字切図の副本が多く含まれており、周辺他村落の史料としても重要である。

ところで、大脇新田は貞享年間頃に雲谷村より分村成立したとされてきたが、今回の調査でも、本文書群で現存最も古い文書が貞享三年（一六八六）の年貢割付状【一三三―二】であること、また、大正元年（一九二二）に愛知県に提出された村社白山神社棟札調査書写【二四―二】に、田一反七畝三步、畑五反七畝二七歩が新開発されたとする貞享二年の「古書類」が引用されていることなどを確認した。白山神社所蔵棟札によれば、貞享四年に同社の社殿が建立されている^④。同社に現存する棟札では、これが最も古いものとなる。普門寺文書によれば、普門寺住持の昶深が鎌倉街道沿いの「幸ノ神」（塞の神）を白山妙理大権現と崇めたのが白山神社の始まりという^⑤。昶深は寛文十二年（一六七二）頃から一八世紀初頭の普門寺住持であり、白山神社の貞享四年棟札とも時期的に合致する。この時期に大脇新田成立に関わる大きな画期があったことは間違いない。以後も「雲谷村内大脇新田」などとしてしばしば記され、享保年間にいたっても荒地小前帳等が雲谷村の役人等の署判により作成されており、雲谷村との関係は単純ではない。しかし、年貢割付状などは雲谷村を介さず「大脇新田庄屋・百姓中」宛に出されるようになってきていることから、大脇新田は貞享年間には行政単位として成立していたとみることはできよう。

ただし、行政単位としての新田村の成立より以前に、戦国期には大脇地域で開発が行われていたようである。普門寺文書の年次未詳六月十一日付賀藤光成・近藤定秀連署状によれば、戦国期に雲谷と大岩との間で境地の新開地をめぐる相論が起き、両村の百姓衆の訴えにより裁定が行われている。賀藤光成、近藤定秀は吉田城主・酒井忠次の臣といわれ、一五八〇年代前後のものと考えられる。この連署状で、論所の「新居の百姓」は大岩、論所は雲谷に属することとし、山林は「前々の如くたるべく候」との裁定が雲谷の船形寺（普門寺）に伝えられた。この相論で論所となった大岩と雲谷の境地に所在する新開地、山林は、両村の位置関係から言って、大脇の北部地域のほかに想定しがたい。

天和四年（一六八四）に大岩と雲谷との間で山境を「先年境の通りに」することが確認されているが、戦国期の論所なども含めた最終的な村落領域の確定を意味するものと考えられる。その折に境目の印として植え置かれた松木が枯朽して、安政五年（一八五八）に両村立会いのもと植え替えられた後、明治四年（一八七一）にも村絵図差出に際しても改めて山境を前々の通りとすることが確認されている。¹⁰ 明治四年の取替一札によると、両村の境目は浅間山近辺であるという。その境目は明らかに大脇新田と大岩との間に設定されていた。山境の確認が大脇新田の分村成立後も雲谷村と大岩村との間で行われているのは、先例の通りに大脇新田側が雲谷村に代表されているということであろう。この境目が天和以前からの先例が踏襲されてきたものであることを踏まえて遡及的に考えるならば、戦国期の大岩と雲谷との論所はやはり大岩と大脇新田北部との境目であったと考えられ、大脇新田北部の開発が戦国期に遡ると考えられるのである。

大脇町歴史的地名等分布図によれば、大脇の北部には閼刈の谷、竹の谷、広谷、清水谷、堺谷、くりの木沢などの谷地名や沢地名が残り、小谷に沢水を利用した田地が展開している。大規模な溜池や河川からの灌漑を利用できない大脇においては、小規模ながらも安定的な用水を得られる小谷沿いのから開発が行われたものと考えられよう。

行政単位としての大脇新田の成立は貞享年間頃だが、開発自体は一世紀ほど遡って北部の山麓から始まり、一七世紀に入って東海道の開通、二川宿の発展とともに、南部へ向かって徐々に進行し、白山神社を中心とする現集落が形成さ

れていったことものと推測することができるのである。その過程は、普門寺を核とする山麓部から、東海道二川宿を核とする平地への、地域の中心の移行という地域的な動向と軌を一にしている。

以上のように、近世新田村大脇は小規模ながらも、その展開は中世から近世にかけての地域史のダイナミックな動向を集約的に体现していると考えられる。大脇新田戸田家文書は、充実した既知の文書群と合わせて今後活用されることで、当該地域史の可能性を大きく開きうるだろう。

なお、本稿では紙幅の関係で史料の引用を割愛したが、「三河地域史料の研究——文化財の発見、歴史文化の再発見——」〔松井業緒研究代表、『平成26年度学生自主企画研究事業報告書』愛知県立大学教育支援センター、二〇一五年〕に主要な史料の翻刻を掲載した。

注

- (1) 明治九年（一八七六）六月「合併村願」（二川区有文書二〇九号、豊橋市二川宿本陣資料館寄託）。
- (2) 寛政二年（二七九〇）十一月「船形山普門寺由来記録書」（普門寺文書『中世三河国普門寺領現地調査報告書Ⅰ（豊橋市雲谷町編）』愛知県立大学中世史研究会、二〇一一年）所収、貞享四年（一六八七）九月白山大権現社社殿造営棟札（白山神社所蔵、鈴木源一郎編『豊橋市神社棟札集成』（愛知県神社庁豊橋支部、二〇〇一年）所収）。
- (3) 前掲注1、「合併村願」。明治九年（一八七六）六月「二川村へ合併願」（同一一〇号、豊橋市二川宿本陣資料館寄託）。
- (4) 貞享四年（一六八七）白山大権現社社殿造営棟札。前掲注2『豊橋市神社棟札集成』（八一二頁〜八一五頁）参照。
- (5) 前掲注2、「船形山普門寺由来記録書」。
- (6) 拙稿「近世前期における普門寺再興事業と僧昶深」（『中世三河国普門寺領現地調査報告書Ⅱ』愛知県立大学中世史研究会、二〇一二年）。
- (7) 『愛知県史 資料編12 織豊2』一六九七号。
- (8) 天和四年（一六八四）二月二十三日「大岩村雲谷村山境之事」（大岩区有文書八四六号、豊橋市二川宿本陣資料館寄託）。

- (9) 安政五年(一八五八)正月「大岩町雲谷村山境之事」(大岩区有文書八五六号、豊橋市二川宿本陣資料館寄託)。
- (10) 明治四年(一八七二)三月二日「山境取替一札之事」(大岩区有文書八六五号、豊橋市二川宿本陣資料館寄託)。